

事業報告

2019年4月1日より2020年3月31日までの事業概略をご報告します。

当協会の概況

2019年度も当協会の主な事業である育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました。

特筆すべきこととしては、育英事業の一つである「国際瀧富士美術賞」が第40期を迎え、1980年に美術賞がスタートしてからの受賞者総数が780人、給付総額は2億2810万円となりました。またパブリックアート普及事業においては、昨年4月から今年3月までの1年間に広島高速交通（株）アストラムライン「本通駅」にステンドグラス、佐渡汽船（株）の新潟港「万代島ターミナル」に陶板レリーフを設置するなど計4作品を設置しました。これによりこの48年間に全国に設置したパブリックアートは計543作品となりました。

本年度の活動内容を項目ごとにご説明します。

I. 公益事業

1. 育英事業

(1) 瀧富士基金

日本の将来を担う若者を育てるための「瀧富士基金」第53期奨学生を募集しました。8月28日の選考委員会での厳正な審査の結果、30人の奨学生が新たに決まりました。また奨学生のうち特に成績優秀な学生の中から、奨学金の全額、または一部の返還を免除する給費生9人を選びました。このほか奨学金を増額する特待生には7人が選ばれました。基金創設以来の受給者は1900人近くとなり、貸与総額は21億円となりました。

(2) 国際瀧富士美術賞

創設40年を迎えた「国際瀧富士美術賞」は新たに香港教育大学を対象校に加えました。第一次審査は7月16日に、第二次審査は9月10日に開かれ、厳正な審査の結果、国内12美大14人、海外6カ国7美大8人の計22人の受賞者を選びました。授賞式は11月12日から国際文化会館で

行われました。国内最優秀者のグランプリには京都造形芸術大学の北村孝祐さん、海外最優秀者の国際グランプリにはパリ国立高等美術学校のジョアンナ・ミラベルさんが受賞しました。授賞式に引き続き懇親会を開催し、内外の受賞者を囲んで指導教員、大学関係者ら来賓が交流を図りました。

2. 展覧会事業

(1) 交通総合文化展

第66回となる「交通総合文化展2019」を「鉄道の日」(10月14日)の関連事業として、10月25日(金)から30日(水)までの6日間、JR上野駅の中央改札口外コンコースの特設会場で開催しました。

本年度も写真(新日本観光写真)と俳句の2部門を全国公募し、写真約900点、俳句約4800点の応募がありました。この中から選ばれた写真34点、俳句16点を会場で展示しました。また現代日本を代表する日本画、洋画、書の作家グループ「潮瀧会」による新作22点を展示し、招待作家のコーナーでは国際瀧富士美術賞の第36期受賞者の金丸実華子さんに陶板を使った作品を造っていただきました。このほか「パブリックアート普及活動特別展」では協会がかかわったパブリックアートを紹介しました。会期中、外国人を含め多数の方がご覧になり、盛況のうちに終了しました。

(2) 「原宿ファッションジョイボード文化展」

JR原宿駅の大型看板17面を使った「原宿ファッションジョイボード文化展」では、「ITを守る、育てる、“頼れるIT社会”の実現を目指して」キャンペーンを前年度に引き続き開催しました。

3. パブリックアート普及・振興事業

(1) パブリックアートの設置

当協会は長年にわたってパブリックアート作品の制作、並びに普及活動を行ってきましたが、本年度は一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業の一環で、計2カ所のパブリックアートの設置に当協会がかかわりました。このほか当協会は新千歳空港と横手市増田まんが美術館のステンドグラス作品の設置にも協力しました。これでこの48年間に設置したパブリックアート作品は計543点となりました。宝くじ協会の社会貢献広報事業で助成を受けた作品は以下となります。

- ① ステンドグラス「夕風の街 桜の国」
設置場所：広島高速交通(株) アストラムライン「本通駅」
作家：漫画家 こうの史代先生
公開日：2月29日
寄贈先：広島高速交通株式会社

- ② 陶板レリーフ・金属レリーフ作品「佐渡彩景」
設置場所：新潟港「万代島ターミナル」
作家：宮田亮平・東京藝大名誉教授&クレーレ熱海ゆがわら
工房
公開日：3月24日
寄贈先：佐渡汽船株式会社

(2) パブリックアートの制作・設置業務委託契約

東京工業大学は留学生会館 Hisao&Hiroko taki Plaza にパブリックアートを設置することになり、2019年12月10日に当協会の理事・監事の方々から書面での承認決議をいただき、東工大と当協会の間で制作・設置業務委託契約を締結いたしました。大友克洋先生の原画を元に、「クレーレ熱海ゆがわら工房」が陶板作品を制作中で、今年12月に完成予定です。

(3) パブリックアート普及のためのPR・広報活動

- ① 上野駅での交通総合文化展を利用してパブリックアート普及活動特別展を開催し、パブリックアートの意義と役割を知ってもらうとともに、その普及、振興に努めました。

- ② 国際瀧富士美術賞の第36期受賞者の金丸実華子さんに、上野駅での総合交通文化展の展示のため、「クレーレ熱海ゆがわら工房」に滞在していただき陶板を造っていただきました。

- ③ 「beyond 2020 プログラム」の認証獲得
当協会が設置したパブリックアート作品について2019年度も引き続き文化庁に認証申請を行い、認められました。

4. 出版活動

国際瀧富士美術賞 40 年誌発行のため、滝理事長と美術賞の若手 OB・OG の座談会を行ったほか、歴代受賞者へのロングインタビューを行いました。40 年誌は 2020 年夏に発行予定です。

5. 日本の文化芸術の普及振興を兼ねた国際交流促進事業

(1) 若手芸術家の育英事業である「国際瀧富士美術賞」の 11 月 12 日の授賞式・懇親会に、国内外の受賞学生、指導教員、大学関係者ら多数を招待し、交流を図りました。授賞式前日には「クレーレ熱海ゆがわら工房」を国内外の学生、指導教官が訪問し交流しました。学生たちにはステンドグラスと陶板を使ったワークショップも行い、制作した作品を授賞式の懇親会場で展示しました。

(2) 交通総合文化展の展示を通して、来日外国人観光客等に日本の自然や風土の素晴らしさを知ってもらうとともに、日本のさまざまな文化芸術を紹介しました。また日本発の文化で、世界に広がっている「ペア碁」の授賞式会場に交通総合文化展の入賞作品を展示し、国際相互理解の促進を図りました。

II. 収益事業

1. 環境芸術にかかわる各種コンサルティング事業

公共スペースに設置する陶板レリーフ、ステンドグラス、あるいは立体作品などのパブリックアート作品の制作について、各種のコンサルティングを行い、収入を得ました。

2. 不動産などの賃貸業

当協会が保有している不動産や、工房等（クレーレ熱海ゆがわら工房、信楽工房等）の施設を企業に賃貸し、収入を得ました。